

平成 22 年（2010 年）の箱根山の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○ 2010 年の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図 1）

宮城野（大涌谷の東北東約 3 km）に設置してある遠望カメラ及び環境省インターネット自然研究所の箱根・大涌谷カメラでは、早雲地獄の噴気は少ない状態が続いており、噴気の高さは 100～200m で経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2）

2 月 25 日に駒ヶ岳付近の浅部を震源とする地震が一時的に発生し、最大の地震は 18 時 29 分に発生したマグニチュード¹⁾ 2.3 の地震で、神奈川県箱根町湯本で震度 1 を観測しました。

箱根山では、2001 年 6 月から 12 月にかけて、駒ヶ岳周辺を震源とする活発な地震活動（最大地震マグニチュード¹⁾ 2.8）があったほか、その後も年に数回程度の割合で一時的な地震の多発を繰り返していて、最近では 2009 年 8 月に発生しています。

上記以外の期間は、地震の発生回数は少なく静穏に経過しました。なお、火山性微動は観測されませんでした。

1) マグニチュード (M) は地震の規模を表します。

・地殻変動の状況

気象庁の体積歪計²⁾ や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計³⁾ による地殻変動観測では、特段の変化はありませんでした。

2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

3) 地面の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

この資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』、『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 20 業使、第 385 号)。



図 1 箱根山 早雲地獄の状況（12月18日、宮城野遠望カメラによる）白円内は早雲地獄からの噴気
気象庁の宮城野遠望カメラでは、大涌谷からの噴気は高さ 100m 以上の場合、観測されます。

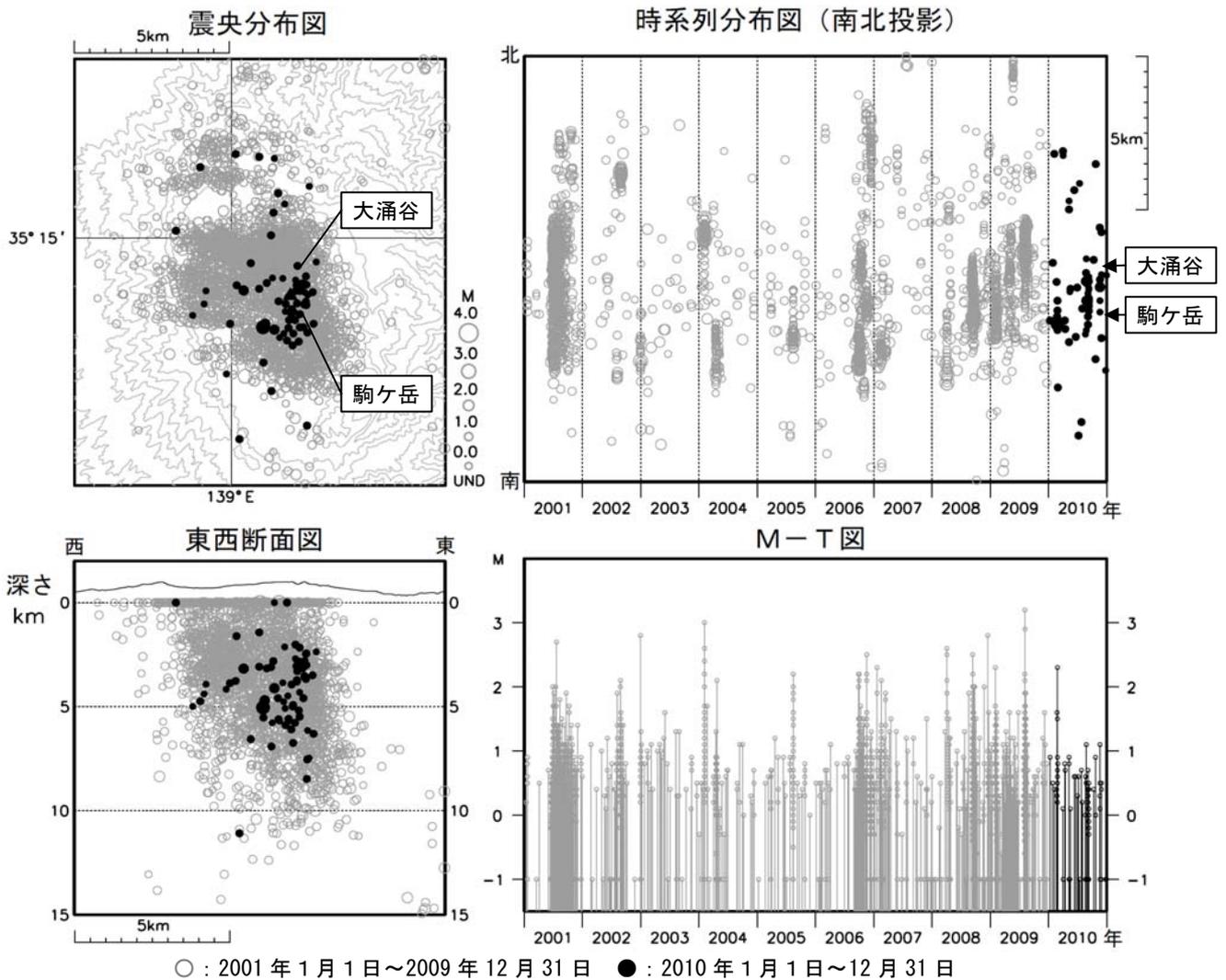


図 2※ 箱根山 震源分布図¹⁾（2001 年 1 月 1 日～2010 年 12 月 31 日）
図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

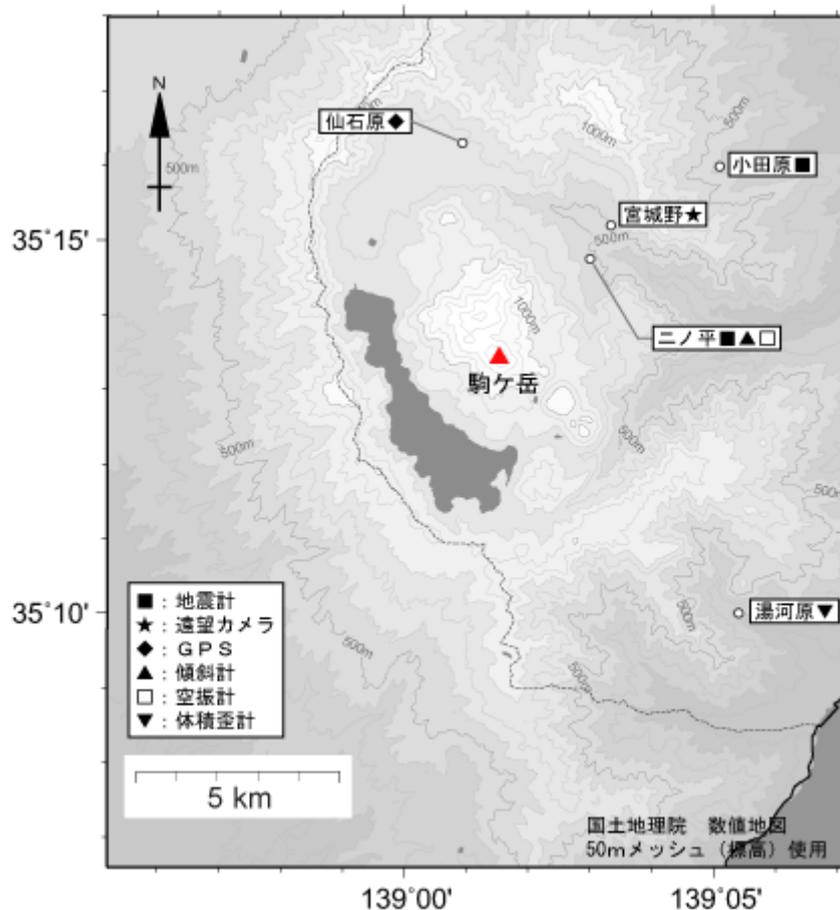


図 3 箱根山 観測点配置図 (小さな白丸は観測点位置を示しています) 運用開始前の観測点も含まれます。

表 1 箱根山 観測点一覧

種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	小田原	35° 15.99'	139° 05.10'	380	0	1996.4.9	短周期 3成分
	二ノ平	35° 14.76'	139° 03.01'	549	-98	2010.11.8	短周期 3成分
遠望カメラ	宮城野	35° 15.2'	139° 03.3'	500		2010.4.1	高感度
GPS	仙石原	35° 16.3'	139° 00.9'	655	4	—	※調査運転中
傾斜計	二ノ平	35° 14.8'	139° 03.0'	549	-98	—	※調査運転中
空振計	二ノ平	35° 14.8'	139° 03.0'	549	2	2010.11.8	
体積歪計	湯河原	35° 10.0'	139° 05.4'	187	-150	1981.5.1	